

## 紫外線と、肌のこと。

引き起こされる、  
さまざまな肌ダメージ。

紫外線が肌ダメージにつながることは、  
今や常識になっていますが、UVA・UVB  
が肌を与えるダメージはそれぞれ異なり  
ます。波長の短いUVBは表皮に影響を  
与え、日焼けやシミ・そばかすの原因に。  
波長の長いUVAは真皮にまで影響を及  
ぼし、しわ・たるみの原因となります。

また日焼け直後の肌は、軽いやけどをし  
たときと同様に炎症が起こり、長引くとシ  
ミの原因になってしまいます。また、角質  
層から水分が奪われ乾燥した状態に。  
「紫外線をブロック」することにプラス  
して、効果的な「抗炎症」「保湿」「美白」が  
UVケアに重要となります。

紫外線を浴びることで保湿成分へと変  
換される「オキソチアゾリジン」が、角質層  
の奥深くまで浸透し、紫外線によるダ  
メージを受けた肌にうるおいを与えます。  
まさに、紫外線を味方につける成分と  
いえますね。

## ブルーライトと、肌のこと。

油断できない、  
「第三の紫外線」の存在。

人の目で見ることができる光の中で最も  
波長が短いブルーライトには、紫外線と  
似た強いエネルギーがあります。「第三  
の紫外線」とも呼ばれ、UVAと同等の  
肌への到達度を持ち、コラーゲンに影  
響を及ぼし、たるみの原因となります。  
また、活性酸素の発生を促進し、皮膚  
の炎症によるシミ増加を引き起こしてし  
まいます。さらに恐ろしいことに、太陽光  
に含まれるブルーライトはパソコンやス  
マートフォンに比べ圧倒的に強度が高  
いため、肌酸化（肌サビ）ストレスを  
与えやすく、シミ・しわ・たるみの原因と  
なる過酸化脂質を増加させます。屋内  
でも屋外でも、ブルーライトは私たちに  
ダメージを与えているのです。

ブルーライトケア成分である「ラディケア  
ゴールド」には、酸化ストレスを軽減さ  
せ、ダメージを受けて低下した肌のバ  
リア機能を高める効果が期待できます。  
日常的にパソコンやスマートフォンを利  
用する現代人におすすめです。



## 環境ストレスと、肌のこと。

シミの原因、  
「活性酸素」の恐ろしさ。

クルマの排気ガスや黄砂、PM2.5な  
ど…。公園でランニングをしている時も、  
街でお買い物をしている時も、私たちは  
さまざまな環境ストレスと接しています。  
外敵からのバリアの役割をもつ肌は、そ  
れらの影響を直接受けてしまうのです。  
バリア機能が低下すると、肌トラブルの  
原因となる活性酸素が発生し、シミ・し  
わ・たるみなどの肌老化や、アトピー性  
皮膚炎・湿疹・ニキビの発生などを引き  
起こします。とくにPM2.5は粒子が小さ  
く、その直径は髪の毛の太さの約30分  
の1。マスクをしていても完全にシャッ  
アウトすることはむずかしく、少なからず  
肌へと付着してしまうため、しっかりとケ  
アすることが大切です。

環境ストレスケア成分である「エグゾP」  
は、紫外線や環境ストレスによる過酸化  
脂質の発生を抑制することで、コラー  
ゲンの減少を防ぎます。美しい肌を保つ  
ため、現代を生きる人におすすめの成  
分ですね。

## インナーケアと、肌のこと。

肌の老化に着目、  
頼りになる味方。

どんなに気を付けていても浴びてしまう  
紫外線。体内に大量発生する活性酸素  
を排出するため、ビタミンA・C・Eなどの  
抗酸化物質をたっぷり含む食品を摂取  
することが大切です。また、インナーケア  
の強い味方が、10年以上研究実績のあ  
る「シトラス果実・ローズマリー葉エキ  
ス」。紫外線を浴びた際に体内から発生  
する活性酸素を抑制すると同時に、日  
焼けによる炎症を抑えることで、肌の老  
化スピードの加速を防ぎます。1日250mg  
の摂取が最適で、継続服用により日差し  
の影響を受けにくくなります(図1)。また  
日焼けをしても、紫外線による細胞への  
影響をアフターケアで抑えます(図2)。

